

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲・乙 第 3334 号	氏名	荒木 康弘
論文審査担当者	主査 川添 和義 教授 副査 石野 敬子 教授 副査 藤田 健一 教授		
<p>論文題名: Prescription pattern analysis for antibiotics in working-age workers diagnosed with common cold (我が国における感冒と診断された勤労者に対する抗菌薬の処方パターンについて)</p> <p>掲載雑誌名: Scientific Reports. Vol. 11 No. 1 doi: 10.1038/s41598-021-02204-3. 2021 年掲載</p> <p>本研究は、感冒（上気道感染症）に対する抗菌薬使用の現状について勤労者を中心としたビッグデータを用いて解析を行ったものである。</p> <p>上気道感染症に対する抗菌薬処方は、有効性が確立されていないにもかかわらず広く使用されている。本研究では、社会保険加入者約 360 万人のデータから、2005 年 1 月～2016 年 2 月までに 5 年間以上連続で健康診断を受診している被保険者 18,659 名を対象に、抗菌薬が処方された割合を算出するとともに、多変量ロジスティック回帰分析を行い、抗菌薬が処方される患者の予測因子を調査した。その結果、抗菌薬を処方される要因として、男性、年齢が若いこと、ベッド数 20 未満の小規模な医療機関の受診者、慢性下気道疾患を有する患者、基礎疾患（高血圧、高コレステロール血症、糖尿病等）を持たない者が抽出された。</p> <p>本論文は臨床薬学上の重要な問題を指摘しており、抗菌薬適正利用の観点から重要かつ新規な知見を与えたものである。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載、500 字以内)